

宇部港

の地域的 参考情報

1 宇部港の気象・海象の特性

- 海上はおおむね平穏である。台風の際には、しばしば高潮が発生する。港内の各泊地に至る水路の入り口付近では、まれに水路を横切る強い潮流がある。

2 台風に関する勧告基準

区分	基準	執るべき措置
警戒態勢	宇部・山陽小野田地区の何れかの港が台風の 強風域内 となる 概ね5時間前 又は異常な低気圧に対する気象情報が発表された場合とする。 ただし、前段においては、台風の強さ、進路、予報円を考慮するものとし、後段においては、最大風速25m/s以上の暴風が予想される場合、又は、重大な災害の起こるおそれのある場合とする。	【一般船舶】 ・けい留索の補強、機関の準備、復旧等荒天準備を行うとともに、状況に応じて、直ちに運航できるよう準備すること。 ・各港内の入港しようとしている船舶で、避難の対象となりうる船舶は、今後の状況を確認し、避難勧告が発令されることが予想される場合は、入港を見合わせること。 【危険物積載船】 ・危険物の荷役作業は、中止基準等を考慮し、早めに中止して嚴重な警戒態勢とすること。 【はしけその他の小型船】 ・風浪、高潮により物件が流出しないように、流出のおそれがある物件の固縛、陸揚げ移動等を行い、又は状況に応じて、直ちにその措置がとれる準備をすること。 【工事・作業現場、造船所、岸壁(棧橋、物揚場)】 ・風浪、高潮により物件が流出しないように、流出のおそれがある物件の固縛、陸揚げ移動等を行い、又は状況に応じて、直ちにその措置がとれるよう準備をすること。
避難勧告	宇部・山陽小野田地区の何れかの港が台風の 暴風域内 となる 概ね8時間前 又は異常な低気圧に対する気象情報が発表された場合とする。 ただし、前段においては、台風の強さ、進路、予報円を考慮するものとし、後段においては、最大風速30m/s以上の暴風が予想される場合、又は、重大な災害の起こるおそれのある場合とする。	・警戒態勢において準備中の措置は、直ちにそれを行うこと。 ・宇部・山陽小野田地区各港に入港しようとする総トン数3,000トン以上の船舶は、直ちに入港を中止すること。 ・宇部・山陽小野田地区各港における総トン数3,000トン以上の船舶は、安全な海域に避難すること。
退去命令		勧告に従わない船舶の船長判断に合理性が認められない場合等には、港長等の判断により発令される。
解除	台風及び異常な低気圧の影響圏外となり、各港内の風速が15m/s未満となった場合。	・入港船舶の混乱を防止するため、避難完了後必要に応じ入港順序を本協議会関係者において協議し、決定する。

3 付近海域の特徴

- 港則法上の航路はないが、各泊地に至る4水路がある。
- 港域南端の本山灯標の西北西方1.6海里付近に検疫錨地がある。
- 危険物積載船舶は宇部港西防波堤灯台の南西方約1海里及び南方約2海里付近に停泊場所が指定されている。

緊急連絡先 宇部海上保安署 TEL: 0836-21-2410

各海域(港)最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。